



題字 藤原田 親

No. 1019

2024/4/1

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒111-0053
東京都中央区浅草橋2-2-5
3階3F 55号
電話 03(5830)2140(代)
FAX 03(5830)2141
http://www.jcf-jcfr.jp
E-mail: nicchu@jcf-jcfr.jp
郵番 00119-1-21176

日中友好協会
岡山支部
〒709-0034
岡山市北区下伊福
西町1-58 民生会館1F
TEL: FAX (086) 250-1806

日中友好協会
倉敷支部
〒712-8031
倉敷市福成町2-461-45
TEL: FAX (086) 451-7860

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhongyouthao.jinaa.net/>
メールアドレス
nicchuokayama@yahoo.co.jp



岡山で記念合宿

岡田 民



2024.3.23～24、岡山支部太極拳講習会の第一〇〇期記念合宿が行われました。あいにくの雨にもかかわらず、大阪西支部の恒岡先生の指導のもと、全国から参加した43名が密度の高い講習となりました。特に先生の「人も取り残さない」という熱意がひしひしと感じられ、あたたかい指導に感激しました！体のほぐし方、肩関節の動かし方、ほぐした側とほぐしていない側が、こんなにも違うんだと納得。地味に皮膚感覚を高めるためにこすったり、まわしたりすることが、相手の力を感じる近道になると教えていただきました。

全員が太極拳の正しい使い手になり、いろんな問題も解決できればいいなあと思えました。人の手つて温かくって、気持ちいいんですよ。武術って、なんか打ったり蹴ったり、特に自分に拳が向ってくるって怖いと思うけど、そこを乗り越えて楽しい楽しい太極拳を続けましょう！

祝賀会は、手作りの中国獅子舞やプレゼントつきタイズで大盛況！明日はきつと晴れ！



中国結び

小川涼子

3月17日(日)14時～岡輝公民館であった「中国文化に親しむ会」は中国結びでブレスレットを作った。参加者は4人だった。ちよつと少なめだけど、少なくともよかった。なぜなら！誰も時間内に編み上げられなかったからだ！



……おかしいなあ、試し編みだと簡単だったんだけどなあ……。今回は、青赤黄白黒の五色の紐で、八股編みをした。出来上がり写真がきつとどこかにあると思うので見てほしい。この五色は、五行思想とか言われる、古代中国に端を発する、自然哲学思想によるもので、まああれだ、詳しく知りたい人は調べて。赤を主体にしたので、ちよつとめでたい感じの色合いだ。

最初に五行思想と編み方を説明したあと、みんなで一斉に編み始めた。難しくはない編み方の繰り返しだから、途中で迷って編みなおしたとしても、1時間あれば大丈夫な予定だった。実際に、みんな何度かほどいて編みなおしていた。ではなぜ全員編み上げられなかったのか……！？原因は明確だった。編みようが緩いのだ、ものすごく！締めすぎの人はいるかも、と予測してたけど、逆だったか……。そんなこんなでみんなが持ち帰ったのは、ブレスレットではなく、紐でした。参加してうちの母は、翌日の朝までにちゃんと編み上げてたけども！なんで当日でできなかったの？！

ところで今回の会では、中国の菓子をみんなに配った。早く終わる予定だったので、時間があればお茶でも飲みながら食べられれば、と思ってただけど、食べる余裕なんてこれっぽっちもなかったよね！



つくられた「台湾有事」

犬飼 繁

「台湾有事は日本有事だ。」「ウクライナで起きたことは東アジアでも起こりうる。」など岸田政権は無責任な発言を繰り返し、危機をあおって軍事費増を実現しようと、国民に警戒感を抱かせ、マスコミもそのような情報をばらまき、政府に同調するような報道を垂れ流している。

沖縄県では台湾有事を想定して、各島にミサイル基地などを建設し、住民には不安が広がっている。政府は二言目には「沖縄の基地負担の軽減」を口にするが、やっていることは真逆だ。沖縄本島にもゴルフ場跡地に陸上自衛隊の訓練基地を設置するという。

今年 1 月には軟弱地盤の浦添湾の工事にも、沖縄県民の反対の声を押し切って着手した。軟弱地盤の工事実績は海底 70 メートルまでで、現地は軟弱地盤が海底 90 メートルまでである。そのため沖縄県は防衛施設庁の設計

変更を認めなかったのである。つまり完成するかどうかわからない工事をこれから 12 年かけて行うということであり、その間、普天間の危険性は放置されることになる。アメリカ軍のヘリコプターの窓枠が小学校の校庭に落ちてくるという危険性がこれから 12 年以上続くことになる。それでも政府は「辺野古が唯一の解決策」と繰り返すばかりだ。思考停止も甚だしい。

台湾有事を引き起こそうとしているのは中国ではなく、アメリカである。2026 年に中国が台湾に軍事侵攻すると言ったのは、米軍の高官で、2027 年までにと言ったのも CIA の長官である。

中国問題グローバル研究所所長の遠藤誉さんは、その著書「ウクライナ戦争における中国の対ロシア戦略」で、「習近平は基本的に台湾の『武力統一』はしないつもりで、2035 年まで待って台湾経済界をからめとって『平和統一』にもっていくつもりだ。」と述べている。私たちは政府の「東アジアの安全保障環境はかつてないほど厳しい。」という言葉にのせられてはならない。

两岸関係シンポジウム

「台湾有事」を起こさせないために

真田紀子

2024 年 3 月 9 日にあった標記のシンポジウムをズームで視聴しました。4 人のパネリストの中で、私が一番興味をひかれたのが山本恒人さんのお話しでした。山本さんは大阪経済大学名誉教授です。

アメリカの対中戦略がどのように変わっていったのかを図を示して説明されました。1972 年のニクソン訪中から始まった中国を味方につける政策から、急激な経済成長を続ける中国を警戒する政策へ転換する過程を、世界情勢の変化とともに説明されます。

その中で、世界銀行の発表によると 2017 年に中国の GDP は米国を超えているという図には驚きました。これは

物価の差を調整して購買力平価によるとこうなるそうです。

また、2022 年 GDP は、購買力平価ベースで世界 1 位は中国の 30 兆 2160 億ドル、2 位米国 25 兆 4645 億ドル、日本は 4 位 6 兆 1389 億ドルで、インドに 3 位を譲る結果になっていました。

アメリカのシナリオでは、米国の一極覇権を維持するために中国を挑発し、それに過剰反応して中国が軍事行動にでると、その中国を同盟国や周辺を巻き込んで叩き、中国の国際的威信を地に落とすということだそうです。

沖縄での米日合同軍事演習に対応するかのよう、尖閣諸島への中国海警局船舶の連続長時間侵入などが強化され、さらに岸田内閣によって「安保三文書」に基づく大軍拡(敵基地攻撃能力の確保)が閣議決定されることとなります。

中国敵視は日中国交回復・日中共同声明・日中平和友好条約を支え、歴史に基づいた日本国民の深い反省に対する冒涇である、と資料に書かれています。

青木ゆ
貝吹
犬飼
真田

中国映画を見る会 第11回
「花の生涯―梅蘭芳」
日時：4月21日(日) 14時〜
場所：岡輝公民館
参加費：300円

中国帰国者問題写真と資料展
時期：4月16日(火)〜18日(木)
時間：4月16日(火) 10:00〜17:00
4月17日(水) 9:00〜17:00
4月18日(木) 9:00〜17:00
場所：岡山市役所 1階ロビー